

## [夷隅感染症情報]（2019年度 第7報）

2019年 第39週～ 第43週（9/23 ～ 10/27）

### <トピックス>

- ① 管内では、39週に1例・42週に1例の結核発生があり、40週に百日咳が1例発生し届出がありました。42週には、定点医療機関から4例のインフルエンザ発生報告がありました。  
県内では、40週に麻しん(はしか)1例の発生報告があり(松戸市)、本年の累計が26件となりました。また42週に1例のチクングニア熱の届出(船橋市 海外渡航にて)がありました。
- ② 東京都では、海外渡航歴がないデング熱患者2名の発生届がありました。以下に報道資料を添付しました。

### 東京都における国内感染症例となるデング熱の発生について

東京都においてデング熱の国内感染症例についての広報発表がされました。

患者2名は、東京都内の学生で、令和元年9月18日(水)から20日(金)までに奈良市内及び京都市内を修学旅行で訪れたとのこと。

なお、デング熱患者の今年(令和元年10月6日現在)の発生件数は、東京都100件、京都市8件、奈良県4件(内、奈良市1件)です。

### ○デング熱対策のポイント

- \* 蚊に刺されないように注意する
- ・屋外で活動する場合は、長袖や長ズボン等を着用し、肌の露出を減らすほか、忌避剤(虫よけスプレー、蚊取り線香等)を活用するなど虫よけ対策を行ってください。
- ・網戸等で室内への侵入を防ぎましょう。
- \* 蚊の発生予防対策
- ・屋外に空きビン・缶・ペットボトル・古タイヤ・おもちゃなどを放置せず、水たまりをなくす。
- ・植木鉢の受け皿・水中植物の鉢などはこまめに水を入れ替える。
- ・排水溝はごみや落ち葉などが詰まらないように掃除する。

なお、蚊に刺されて発熱などの症状がある場合はかかりつけの医療機関を受診してください。

## 【参考】

### 1. デング熱について

#### (1) 感染経路:

- ・ 蚊が媒介するウイルスによる疾患でアジア、中南米、アフリカ等の世界の広範囲な地域で流行します。
- ・ ヒト→蚊→ヒトという経路で蚊を介して感染します。ヒトからヒトに直接感染することはありません。

#### (2) 潜伏期間：2～14日

#### (3) 症 状：

- ・ 突然の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、発疹等が現れ、発熱は2日から7日間持続します。
- ・ 比較的良好な経過をたどることが多いですが、稀に重症化し、出血性ショック症状を呈するデング出血熱に移行することがあります。

#### (4) 治 療 法：特別な治療法はなく、対症療法が主体です。現在のところ、有効な抗ウイルス薬はありません。

### 2. デング熱患者の発生数 （令和元年10月6日現在）

東京都 100件、千葉県 25件、京都市 8件、奈良県4件、全国では371件です。

厚生労働省 デング熱について(厚生労働省ホームページ)

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000131101.html>

## これからの季節、インフルエンザに注意しましょう！！

### ◆インフルエンザを予防するためのポイント

- ①外出から帰宅したらせっけんで十分に手を洗い、うがいをしましょう。
- ②適度な湿度を保ちましょう。
- ③十分な休養と栄養をとりましょう。
- ④人ごみや繁華街への外出をなるべく控え、外出時にマスクを着用しましょう。
- ⑤重症化の予防のためには、予防接種を受けることも有効です。

### ◆もしインフルエンザにかかってしまったら？

- 早めに医療機関を受診して治療を受けましょう。
- 医療機関を受診した後は、できるだけ安静にし、十分な睡眠をとることが大切です。発熱により、脱水症状を起こしやすいので、お茶・スープ等で水分を十分に補給しましょう。またバランスのとれた消化の良いものを食べるようにして、体力をつけることも大切です。
- インフルエンザは、適切な休養をとれば、多くは3日～1週間で治る病気です。しかし、インフルエンザウイルスは熱が下がっても体内には残っているため、他人にうつすおそれがあります。そのため1週間程度は、感染の危険性が大きいので、外出はできるだけ避け、家族にもうつさないよう心がけましょう。
- インフルエンザにかかってしまった人のいる部屋は換気をよくし、室内の温度を、20℃～22℃に保ち、室内の湿度を60～70%に保つよう心がけましょう。

● 管内の全数把握感染症情報 ●

< 類別・疾患別集計表 >

区 分	39-43 週	累計 (2019 年 発生分)
1 類感染症	0	0
2 類感染症		
結 核	2	9
3 類感染症	0	0
4 類感染症	0	3 (つつが虫病)
5 類感染症	0 0 1	1 (風しん) 1 (劇症型溶血性レンサ球菌感染症) 15 (百日咳)

● 管内定点把握対象疾患 ●

疾患名 (インフルエンザ及び小児科定点疾患)	1 週～ 43 週の 累計	直近 5 週の届出数				
		39 週	40 週	41 週	42 週	43 週
1 インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び 新型インフルエンザ等感染症を除く)	1400	0	0	0	4	2
2 RS ウイルス感染症	16	0	0	0	0	0
3 咽頭結膜熱	11	1	1	0	1	0
4 A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	126	0	0	0	3	2
5 感染性胃腸炎	58	0	1	0	2	0
6 水痘	7	0	0	0	0	0
7 手足口病	83	4	3	2	0	0
8 伝染性紅斑	26	3	0	0	0	0
9 突発性発しん	11	1	0	1	1	0
10 ヘルパンギーナ	48	0	0	0	0	0
11 流行性耳下腺炎	6	0	1	0	0	0

< 参考 >

夷隅健康福祉センター管内の定点医療機関は、

インフルエンザ定点 : 5 医療機関

小児科定点 : 3 医療機関

の協力を得ています。

◆千葉県の感染症情報 千葉県感染症情報センター（千葉県衛生研究所感染症学研究室内）

<https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/index.html>

◆厚生労働省ホームページ

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/influenza/index.html>

### 感染症情報の受信先設定について

日頃、感染症対策の推進に御協力いただきありがとうございます。

#### 【連絡】

登録アドレスの廃止、変更等は連絡願います。

#### 【利用にあたっての注意】

『夷隅感染症情報』の感染症の説明等は主に公的機関の情報を基に作られ、できるだけ最新で正確なものを発信するよう努めておりますが、御利用に際しては、利用機関の責任において御使用ください。また、メールの安全性についても県庁のネットワークシステムの一環として安全性の確保を図っておりますが、受信先におきましてもセキュリティー等の注意をお願いします。

※このアドレスは送信専用です。

お問い合わせの際には下記まで御連絡ください。

\*\*\*\*\*

<配信元>

千葉県夷隅健康福祉センター（夷隅保健所）

【お問い合わせ先】

[isumiho3@mz.pref.chiba.lg.jp](mailto:isumiho3@mz.pref.chiba.lg.jp)

\*\*\*\*\*